



長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

第31号

平成20年10月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります

地域がん診療連携拠点病院

病院機能評価認定病院

臨床研修病院



急病センター 半年を迎えて

長野市医師会医師
による診療風景

4月より長野赤十字病院内にありま
した長野市急病センターの機能が移転
し、『長野市民病院・医師会 急病セ
ンター』となり半年を迎えました。

現在、長野市北部を中心に、隣接す
る須坂市・中野市・飯綱町など、北信
地域全体の初期救急医療の拠点として
長野市医師会医師の協働のもと運営し
ています。

以前の急病センターとの違いとして
は、夜間当番医として在宅にて診察し
ていた外科系の医師も急病センターに
集約し、内科系・外科系医師の2名が
同一の施設で診察できるようになった
点です。

また、従来では対応出来なかったレ
ントゲン・CT撮影、血液検査などが
行えるようになり、充実した診療体制
が整ってきています。

さらに医師会医師が診察後、症状が
重く入院の必要性があると判断した方
は、当院医師が診察する体制をとって
いますので、症状の重度・軽度に関わ
らず安心して受診していただけるよう
になりました。

急病センターでは、今後も地域の皆
様が安心して暮らしていただけるよう
に、医師・看護師の協力のもと、さら
なる初期救急医療体制の充実を進めて
まいります。

救急センターがオープンし 半年を迎えて

4月1日より『24時間365日体制』の理念のもと、救急センターが始動し半年となりました。救急科専任医師1名に、当院医師・信州大学医学部附属病院救急医師の協力も得て、救急車搬送患者など重度から軽度まで幅広い診療を行っています。

また、1月15日から開設したヘリポートでは、山間部などでの緊急治療患者を積極的に受入れ、10月10日現在でドクターヘリ7台、防災ヘリ2台、県警ヘリ1台の受入れを行っています。

さらに、HCU（準集中治療室）が順調に稼動し、以前に比べ休日・時間外の救急・緊急治療患者の受入れが容易となり、5月中旬から6床稼働となったICU（集中治療室）とともに、より充実した救急医療体制が整ってきています。

救急センターでは、4月からの医師会急病センターの移転とも重なり、8月までの月平均患者数が約1400人と前年度の同時期に比べ約2倍に増加し、8月31日現在で延べ7171人の方が受診されました。

昨年度と比較すると、19年度の総救急患者数は8079名、そのうち救急搬送患者数は1856名でしたが、本年度は救急患者数約17000名、救急搬送患者数約2400名となる見込みです。

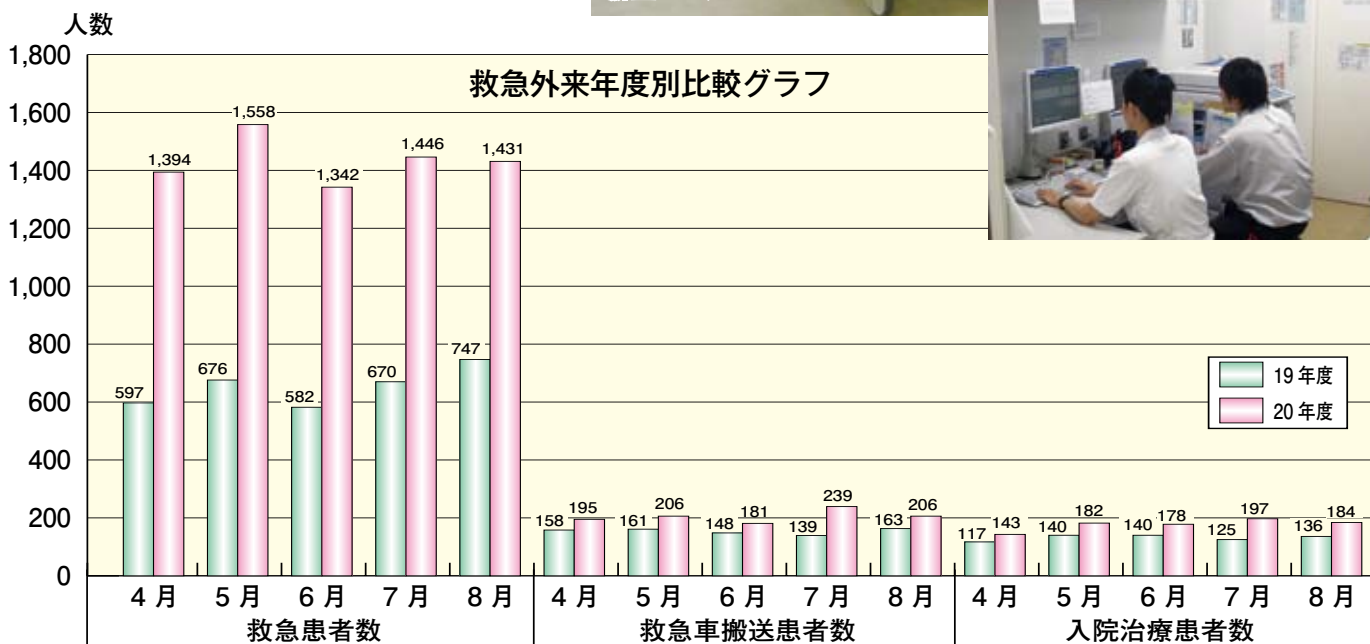
救急外来からの入院患者数も昨年度より増加し、救急外来年度別比較グラフを見てもお分かりいただける



蘇生コーナー

ように、長野市民病院は北信地域全体の救急医療の拠点としての役割を担っています。

長野市民病院救急センターは、今後も高度かつ安全な医療の実現に努力してまいります。市民の皆様には、今まで以上のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。



長野市民病院・医師会 急病センター

診療時間(365日) TEL 026-295-1291

内科・小児科系 午後7時～翌朝6時 外科系 午後7時～午後11時



外来診療の

受付方法変更について

9月1日より、外来診療における受付方法を変更いたしました。それに伴い、患者さまの利便性が向上したことについて以下の通りご報告いたします。

①紹介状をお持ちの方と初めての方を除く全ての患者さまの受付を自動再来受付機による受付に変更するとともに自動再来受付機を3台に増設いたしました。その結果、エントランスホールの受付待ち患者さまの混雑が解消されるとともに、各科外来へカルテが搬送されるまでの時間が短縮し、診察までのカルテ準備時間を減少させることができました。

②一部診療科のみで行っていた外来案内表示盤について、放射線科を除く全診療科の受付に導入し、受付番号による呼び出しに変更するとともに、診察中の患者さまの予約時間を表示いたしました。その結果、呼び出しの名前間違いが少なくなりました。また、ご自身の予約時間との比較により、およその待ち時間を把握いただけるようになりました。

③診療費の計算ができあがった方の

受付番号を表示する会計表示盤を新たに設置し、お名前による呼び出しを行わないようにいたしました。その結果、呼び出しの聞き漏らしが解消され、エントランスホールも静かになりました。また、併せて自動入金機を2台設置し、お支払いの待ち時間の減少を図りました。

以上が現時点でのご報告となります。まだまだ課題はございますが、それぞれの課題について院内で検討し、改善を図ってまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



7月18日
10月3日

がん診療公開講座



去る7月18日(金)、当院会議室4・5・6にて、平成20年度第1回がん診療公開講座を開催いたしました。

「肺がん・乳がん・大腸がん・腎がんに対する今日の化学療法」(分子標的薬を中心に)と題して、埼玉医科大学国際医療センター 臨床腫瘍科・腫瘍内科准教授 宮 敏路先生の講演がありました。

最新の肺がん・乳がん・大腸がん・腎がんに対する今日の化学療法についてご講演いただき、全医療従事者を対象に87名の方にご参加いただき大盛況でした。



講師：埼玉医科大学国際医療センター
臨床腫瘍科・腫瘍内科准教授 宮 敏路先生

また10月3日(金)には、ホテルメトロポリタン長野2階「千曲」にて、第2回がん診療公開講座を開催いたしました。

「日本のがん医療のめざすべきもの」(静岡がんセンターでの経験をふまえた私見)と題して、静岡県立静岡がんセンター院長 薦 賢一先生の講演がありました。地域がん診療拠点病院に期待されることとして、これまで静岡がんセンターが目指してきたことについてご講演いただき、全医療従事者を対象に90名の方にご参加いただき大盛況でした。



講師：静岡県立静岡がんセンター
院長 薦 賢一先生

医師・後期研修医募集

○求人内容

- 救急医(専従・兼任：数名)、●麻酔科医
- 内科医(消化器科(肝臓専門医急募)、呼吸器科、腫瘍内科、腎臓内科、内分泌担当医、血液内科等)
- 消化器外科医、●脳卒中専門医、●脳神経外科医、●小児科医、●整形外科医、●婦人科医、●泌尿器科医
- 放射線治療医、●女性専門外来担当医(パート勤務可)

※上記以外についてはお電話にてお問合せください。随時見学可能

information

再就職支援セミナー

再就職を考え始めている方に、最新の知識と技術を学んでいただき、少しでも安心して復帰していただくために長野市民病院独自の講習会を行っています。



今後の日程(週1回計4回)
第4回：12月2日(火)～
第5回：2月3日(火)～
託児所の一時利用も可能です。(有料)
ご参加お待ちしております。

看護師修学資金制度

看護師養成学校を卒業後、直ちに長野市民病院で勤務いただける方の学生生活を支援します。
(年額60万円。返済免除も可)
詳細は右記担当まで。



託児所



長野市民病院には、0歳児から3歳児までの子どもを預けることができる職員向けの託児所があります。予約制で24時までの託児が可能です。現在、看護師など約20名の職員が利用しています。

子育てしながら仕事を続けている看護師、仕事に復帰したい看護師、看護師になりたい人たちの支援をしています

問合せ先：長野市民病院総務人事課人事担当
TEL：026-295-1199(内線：4400)



放射線治療には大きく分けて、2つの目的があります。1つは治療を旨とした根治的治療です。もう1つは、痛みなどの症状を軽減させる緩和的治療です。骨転移の痛みを和らげる治療は、後者の1つであり、放射線治療は有効な手段です。

今まで

多発性骨転移の痛みに対する メタストロン注治療

放射線科科長 橋田 巖

を外部から行っていました。昨年の10月に、静脈内に約3mlをゆっくり注射するだけで、全身の骨転移の痛みが緩和されるといふ画期的な治療が、ようやく日本でも認可されました。その薬の名前がメタストロン注です。

メタストロン注とは、ストロンチウム-89の治療用放射線医薬品です。ストロンチウム-89は、物理的半減期が約50日で、飛程の短い(平均2.4mm、最大8mm)放射線を放出する核種です。体内ではカルシウムと

同様な動きをし、造骨活性の盛んな部位に集積しやすい性質を有しています。その結果、造骨活性が亢進した全身の骨転移病巣に、ストロンチウム-89が選択的に集積し、局所的に同部の放射線治療を行うことにより、痛みの緩和を図ります。

当院では、昨年の11月末に1例目の治療を開始し、現時点で14例に施行致しました。概ね期待通りに、痛みの緩和が得られています。しかしながら、鎮痛効果は即効性ではなく、2週間を過ぎた頃から痛みは軽減してくるようです。副作用ですが、注射後、一時的な痛みの増強が2例に認められました。また全例に、軽

度の白血球減少や貧血が認められましたが、多くの場合、数カ月で自然に回復しています。悪心・嘔吐などの症状は一切出現しません。

メタストロン注を静注後、長期間当科に受診されている6人の患者さんのうち5人は、多発性骨転移の痛みに苦しんでいる患者さんがいたら、是非この治療を勧めたいと答えてくれました。

多発性骨転移による痛みには、鎮痛剤の使用のみでなく、メタストロン注による治療を検討してみる価値があるものと思われれます。

みなさまの声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々な意見ご要望をいただいております。

毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できることから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

テレビ視聴料が高い。冷蔵庫使用量も高い。一日100円位になれば利用も増えると思います。が、いかがでしょうか？

(入院患者 男性)

◆回答 3月28日に新型液晶テレビに交換するとともにテレビ視聴料金を1000円/900分であったものを1000円/1000分に改善致しました。また、冷蔵庫につきましては各階の自販機や1階コンビニ利用による使用減少と省エネ推進の観点から、ご利用の場合のみ家電通電する方式とさせていただいております。

なお、県内病院の実態調査によると冷蔵庫の利用率は27%程度で、100円/200円/日の課金をさせていただきます。

れている病院が多いとのこと。当院では100円/日のご負担をお願いしております。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

会

計支払い窓口についての要望です。事務処理が終了し呼び出す時に、個人の名前が口頭で実施していますが、混雑時には聞き取りにくいしプライバシーの侵害にもなるので、次の様な方法で検討して下さい。

①会計窓口へ請求書を提出した時に受付Nocardを発行し、処理後画面上に表示する。
「A病院実施中」

②会計へ書類を提出した時点で待ち時間を表示し支払い窓口では「診察券」の提示、処理をして支払いをする。
「B病院実施中」

(外来患者 男性か女性不明)

◆回答 会計時の呼び出しについては、できるだけ大きな声ではっきりとお呼びするよう心がけております。混雑時等は声が行き届かなかったかもしれません。申し訳ございませんでした。

ご提案いただいた件については、9月1日より掲示板にて番号表示によるお知らせを行っております。患者さまには番号表示により会計窓口または自動精算機にてお支払いをしていただきます。何卒皆さまのご理解をお願いいたします。

院長の岸先生は野沢温泉村のご出身で、旭川医科大学をご卒業後、信州大学整形外科に入局し、国保依田窪病院、安曇野赤十字病院、長野県立総合リハビリテーションセンター、信大医局へ戻り、長野市民病院で5年9ヶ月の勤務を経て、平成13年9月から開業されておられます。先生のご専門は整形外科で、外傷や老化、関節リウマチなどによって脊椎、関節などが障害されているが手術適応まで至らない、または手術を希望されない患者さまに対して、薬物、リハビリ、注射、装具療法等の保存的治療を中心に診療されているそうです。中学生の頃、「白い滑走路」というドラマを見てからパイロットを目指しましたが、この頃より眼が悪くなってしまい断念されたそうです。医師になったきっかけはその後テレビで見た「白い巨塔」で、財前五郎の強さと孤独に憧れて、内科医ではなく手術のできる外科医を目指したそうです。医師になってからは、病气やケガをして体が不自由になった患者さまが、元通りに機能回復し感謝してくださることが一番の喜びだそうです。趣味はゴルフで、この先シングルプレイヤーを目指し、エージシュートを達成することが夢とのこと。市民病院に望むことは、後方医療機関である長野市民病院にしっかり支えてもらっているのも非常に感謝しており、緊急性と重傷度が高い外傷や疾患に対して、今後とも直ちに対応して頂けると非常に有り難いと意欲的に語っておられました。



登録医制度による地域医療連携システムが平成15年4月にスタートしてから市民病院へ紹介いただいたり、市民病院から地域の診療所に逆紹介したりするケースが増えています。
なお、登録医の一覧が玄関に掲示されていますので、ご覧下さい。この欄では、日頃お世話になっている登録医の医師を順次紹介してまいります。

登

録

医

紹

介

No.17

病院機能評価 Ver.5.0

9月17日・18日・19日に受審

当院では、5年前の平成15年10月に病院機能評価（Ver.4.0）の認定を受けましたが、5年毎に更新が必要なことから、認定証の期限に当たる9月に、17日・18日・19日の3日間にわたる審査を受審しました。今回の審査は「Ver.5.0」となり、以下の6つの領域の延べ500以上の評価項目についてチェックを受けました。

第1領域「病院組織の運営と地域における役割」

第2領域「患者の権利と安全確保の体制」

第3領域「療養環境と患者サービス」

第4領域「医療提供の組織と運営」

第5領域「医療の質と安全のためのケアプロセス」

第6領域「病院運営管理の合理性」

病院機能評価とは

第三者機関である財団法人医療機能評価機構が、国民の医療に対する信頼を揺るぎないものとし、その質の一層の向上を図ることを目的として実施しているもので、病院の各種機能について客観的にチェックを行い、全ての評価項目について一定水準以上にあると認められた場合に認定証が発行されるという制度です。

病院機能評価の構成

①書面審査

病院機能の現況調査と自己評価調査からなっており、現況調査では、病院の種類、施設基準・特定療養費の状況、患者数、病床数、標榜科目、医師数及び診療科目別患者数、認定医数、外部委託の実施状況、医療安全管理の状況、及び外来、救急、病棟、薬剤、臨床検査など各部門の現況、対応可能な診療機能と実施状況などを審査します。

自己評価調査では、第一領域から第六領域までの調査項目を自己採点し、1から5までの点数をつけるものです。

②訪問審査

7人のサーベイヤー（リーダー1名と診療領域2名、看護領域2名、管理領域2名）が当院を訪れ、3日間にわたって、書類確認、合同面接調査、領域別面接調査、部署別訪問調査を行い評価するものです。



職員短信



● 長野びんずるに 約118名が参加

8月の暑い夏が訪れた今年も、恒例の市民祭「長野びんずる」が8月2日(土)、中央通り一帯で開催されました。

長野びんずるも数えて38回目を迎え、当院からは新人看護師、研修医や竹前病院長、宗像上席副院長、幹部職員を含めて118名が参加。鷺澤市長も病院連に飛び入りで加わり、楽しんでおられました。

連長の松田医局長、副連長の塩澤事務部長を先頭にびんずる囃子にあわせて踊りました。当日はお祭ムードの熱気で、2時間余りの踊りはあっという間に過ぎて、さわやかな満足感がありました。

● ギニア共和国大使館訪問

5月31日(土)の第2回病院祭において、アフリカの恵まれない人に寄付をしたいという趣旨から開催されたチャリティオークション、グッズ販売等での収益等を、7月29日(火)にギニア大使館顧問であるオスマン・サンコン氏、渡辺企画財務課長等同席のもと、ギニア共和国大使館へ寄付金として贈呈しました。ギニア共和国の大使はあいにく夏期休暇中で帰国しており不在でしたが、代理として応対いただいたブレズ・パスカル・ケイタ1等事務書記官が感謝の意を述べられました。



● 台湾彰化縣(しょうかけん)からの病院視察

去る8月19日(火)、台湾彰化縣衛生局19名の方々が、長野県社会福祉、保健医療関係の状況を調査、今後に役立てる事を目的として当院へ視察に來られました。

張瑞濱(ちよう・ずいひん)副縣長(副知事)が一行を代表し、「医療福祉の向上を図るため、視察に訪れました。学んだことは我々にとって得難いものになるでしょう。」と挨拶されました。意見交換の際、質疑で一行から運営形態である公設民営方式等について質問が相次ぎました。竹前病院長が「日本の自治体病院の7/8割が赤字。従って民間の力で経営するように、というのが国の考え。その1つが公設民営です。」と紹介されました。



● 高校生1日看護師体験

8月6日、7日の2日間、64名(うち男子4名)の高校生が1日看護師体験に参加しました。白衣で厳かにキャンドルサービスを行い、全員でナイチンゲール誓詞を唱えました。病院玄関前で集合写真を撮影し、院内見学ツアーの後、病棟実習を行いました。患者さんの手や足を実際に洗ったり、車椅子を押したり、汗びっしょりになりましたが、患者さまからたくさんの感謝の言葉を頂き、大満足で看護師体験を終えました。懇親会では、病院長より片頭痛のお話を聞き、動脈瘤の手術のリアルな映像を目にして、少し衝撃的な場面もありましたが、実際に当院の「高校生1日看護師体験」に参加して、就職した先輩ナースの体験談を聞き、さらさらと目を輝かせていました。1人でも多く将来ナースになつて市民病院に來てくれることを楽しみにしています!



外来診療担当表は、10月1日現在で作成されております。担当医師が変更
となっている場合もございますので、お問合せください。

外 来 診 療 担 当 日 一 覧

平成20年10月1日現在
長野市民病院
○印は初診担当です

	月	火	水	木	金	専 門
内 科 (呼吸器科) (消化器科) (循環器科) (腎臓内科) (内分泌代謝科)	○渡部 努 ○吉池 文明 平井 一也 越知 泰英 立岩 伸之 南澤 綾子 ○西井 裕	須澤 兼一 吉池 文明 ○山崎 誓一 小松通治(午前中) ○丸山 隆久 ○彦坂 吉興 掛川 哲司	山崎 誓一 西井 裕 平井 一也 ○越知 泰英 丸山 隆久 ○笠井 俊夫 ○長谷部 修	稲田浩之(午後) 吉池 文明 山崎 誓一 ○立岩 伸之 春日 広一 ○町田香津子 ○掛川 哲司	彦坂 吉興 ○南澤 綾子 ○平井 一也 渡部 努 ○須澤 兼一 笠井 俊夫 長谷部 修	平井一也(呼吸器) 長谷部修(消化器・内視鏡) 西井 裕(糖尿病・内分泌代謝疾患) 丸山隆久(循環器) 笠井俊夫(循環器) 越知泰英(消化器・内視鏡) 掛川哲司(腎臓) 吉池文明(呼吸器) 山崎誓一(呼吸器) 立岩伸之(消化器・内視鏡) 須澤兼一(消化器) 彦坂吉興(消化器) 南澤綾子(循環器) 渡部 努(内科一般)
小 児 科 午前10時以降 午後 専門外来 (予約制)	浅岡 麻里 青沼架佐賜 乳児一般健康診査	池野 一秀 — 青沼架佐賜 小児心療内科外来 免疫・アレルギー	青沼架佐賜 池野 一秀 — 小児心療内科外来	池野 一秀 浅岡 麻里 — 免疫・アレルギー 循環器外来	池野 一秀 — 青沼架佐賜 神経外来 小児心療内科外来	青沼架佐賜(発達・神経・循環器・心身症) 池野一秀(免疫・アレルギー)
外 科 (消化器外科)	○高田 学 沖田 浩一 ○田上 創一	○林 賢 ○関 仁誌 佐近 雅宏	宗像 康博 ○沖田 浩一 田上 創一	○佐近 雅宏 宗像康博(紹介のみ) 林 賢	関 仁誌 ○濱田 浄司 ○岡田 正夫	宗像康博(消化器・胃大腸) 林 賢(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 関 仁誌(消化器・肝臓・胆道・脾臓) 高田 学(消化器) 沖田浩一(消化器) 佐近雅宏(消化器) 田上創一(消化器) 濱田浄司(外科) 岡田正夫(外科)
整 形 外 科	松田 智 南澤 育雄 ○中村 功 ○藤澤多佳子 ○山田 誠司	○塚田 章博 — ○岡本 正則 松田智(紹介、救急) 南澤育雄(紹介、救急)	(藤澤多佳子) — 中村 功 ○山田 誠司 ○南澤 育雄	○松田 智 岡本 正則 中村功(午後) ○藤澤多佳子 —	— 南澤 育雄 中村功(紹介、救急) 山田 誠司 —	松田 智(上肢・末梢神経) 南澤育雄(骨折・リウマチ性疾患・股関節) 山田誠司(関節疾患) 中村 功(脊椎) 岡本正則(整形外科)
形 成 外 科	○滝 建志 柴 将人	○伴 緑也 柴 将人	○滝 建志 柴 将人	滝 建志 ○柴 将人	○滝 建志 柴 将人	滝 建志(形成外科) 柴 将人(形成外科)
脳神経外科 (脳血管内治療科)	○大屋 房一 柿澤 幸成	○柿澤 幸成 宮岡 嘉就	○大屋 房一 竹前 紀樹	○柿澤 幸成 大屋 房一	○竹前／宮岡 (交替制)	竹前紀樹(脳腫瘍・脳血管障害) 大屋房一(脳血管障害・脳血管内手術) 柿澤幸成(脳腫瘍・脳血管障害) 宮岡嘉就(脳神経外科)
皮 膚 科	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實	齊木 實(皮膚科)
泌 尿 器 科	岡根谷利一 上野 学	飯島 和芳 —	岡根谷 利一 上垣内崇行	上野 学 中藤 亮	上垣内崇行 中藤 亮	岡根谷利一(悪性腫瘍・前立腺肥大) 上垣内崇行(尿路結石・前立腺肥大) 飯島和芳(神経因性膀胱) 上野 学(泌尿器科) 中藤 亮(前立腺肥大)
眼 科	風間 淳 —	風間 淳 中村さち子	風間 淳 黒川 徹	風間 淳 —	風間 淳 —	風間 淳(眼科)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	休 診	野村 康	野村 康	野村 康(耳鼻咽喉科)
放 射 線 科	メタストロン外来	橋田 巖	休 診	橋田 巖	橋田 巖	今井 迅(画像診断) 橋田 巖(放射線治療)
歯 科 口 腔 外 科	○松本 和彦 田村 稔	○田村 稔 松本 和彦	○松本 和彦 田村 稔	○成川純之助 —	○田村 稔 松本 和彦	田村 稔(口腔腫瘍) 松本和彦(口腔外科)
神 経 内 科	○町田香津子	山本 寛二	町田香津子	○山本 寛二	山本 寛二	山本寛二(神経内科) 町田香津子(神経内科)
呼吸器外科 (乳腺外科)	○信大医師(交替制) 有村 隆明	○加藤 響子 西村 秀紀	○西村 秀紀 加藤 響子	○有村 隆明 西村 秀紀	○有村／加藤 (交替制)	西村秀紀(呼吸器・乳腺・甲状腺) 有村隆明(呼吸器・乳腺) 加藤響子(呼吸器・乳腺)
婦 人 科	(交替制) ○西澤千津恵	○塚本 隆是 —	○森 篤 西澤千津恵	○森 篤 西澤千津恵	森 篤 ○西澤千津恵	森 篤(悪性腫瘍・不妊症) 西澤千津恵(婦人科)
腫瘍精神科	高橋 陽 (完全予約制)	休 診	休 診	休 診	高橋 陽 (完全予約制)	高橋 陽(腫瘍精神科)
(膠原病外来)	—	—	(池田三知代)	—	—	第2外来
救 急 科	坂口 治	坂口 治	林 賢	坂口 治	坂口 治	坂口 治(救急科) 長野市民病院救急センター

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199 FAX 026-295-1148
長野市民病院・医師会 急病センター
TEL 026-295-1291
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

■発行人：竹前紀樹
■編集：長野市民病院
広報誌編集委員会

***退職**
7月31日付
関野 康(診療部外科医長)
宮崎純子(診療部放射線科医師)
8月31日付
花岡吉亀(診療部脳神経外科医師)
9月30日付
武藤英知(診療部消化器科医長)
楠 公孝(診療部歯科口腔外科医長)

***新任**
9月1日付
宮岡嘉就(診療部脳神経外科医師)
渡部 努(診療部後期研修医(内科))
10月1日付
飯島和芳(診療部泌尿器科医長)
松本和彦(診療部歯科口腔外科
歯科医師)

医師人事異動

お近くの開業医による「かかりつけ医」を持ちましよう。市民病院へ初診で来院される場合、紹介状と事前予約があると待ち時間短縮につながります。